

瀬波温泉銭湯 松風荘



温泉熱の給湯・暖房利用

熱交換器を使って、温泉熱（浴用利用の余剰分）で上水をあたため、給湯に活用しています。
また、温泉排湯を室内に通すことで、暖房予熱に活用しています。



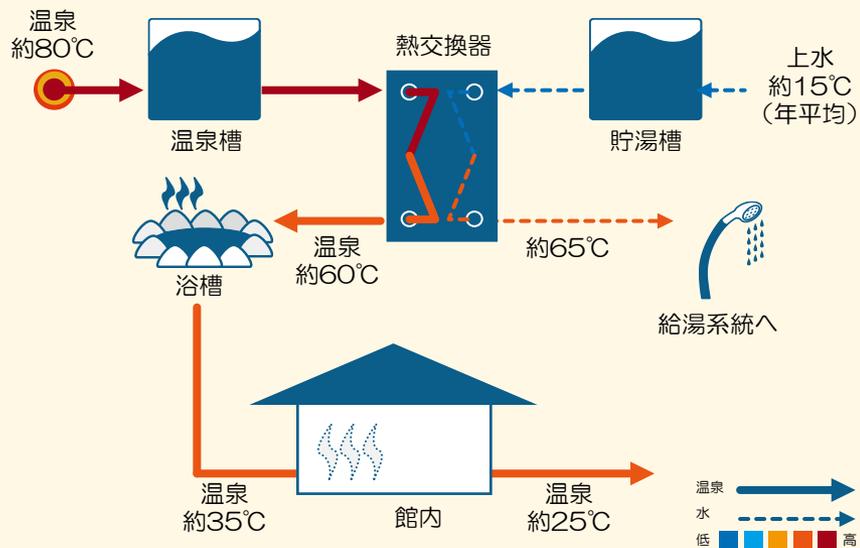
概要

源泉かけ流しの公衆浴場。2020年から事業を継承し、高温温泉を営業時間以外は捨てていること、シャワー給湯は灯油ボイラーで加温していたことから温泉熱の利用検討をはじめた。
現在は80℃の温泉を熱交換することで給湯用の温水を100%賄っている。排湯も活用し、館内に露出配管を巡らせ暖房補助にも活用している。供給量が需要量を上回っているため、その他暖房や融雪等でも活用することを検討している。

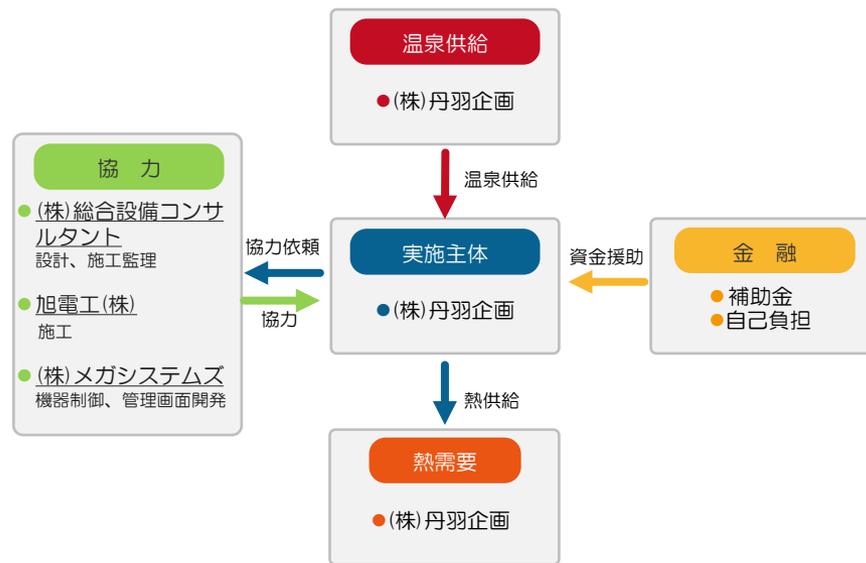
事業者名	(株)丹羽企画
所在地	新潟県村上市
泉質	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉
温泉温度	91.5℃
熱利用温度	80℃
事業開始	2020年10月
総事業費	16,270千円



主な温泉熱利用方法のシステム



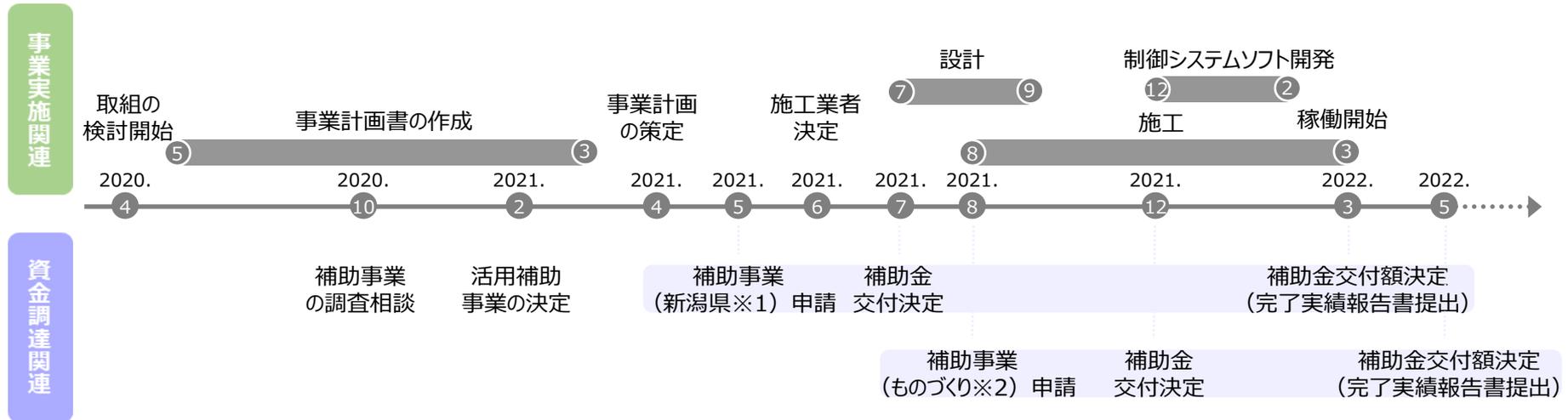
実施体制



瀬波温泉銭湯 松風荘



事業検討の流れ

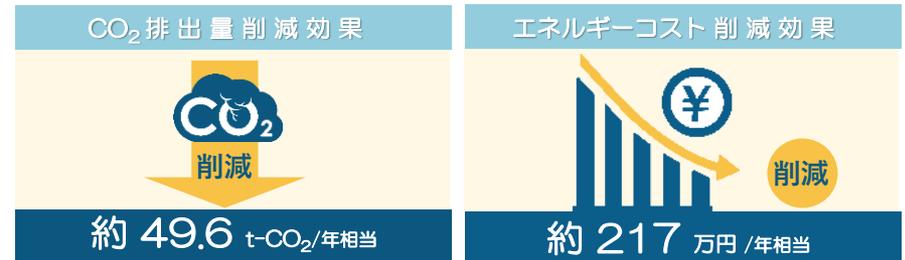


※1:令和4年度新潟県再生可能エネルギー設備導入促進事業補助金 ※2:経済産業省令和元年度補正ものづくり補助金

事業実施の際の課題と解決策

課題発生時期	課題	解決策
設備導入時	<ul style="list-style-type: none"> 補助金申請時に自力で正確な見積りを準備することは困難 補助金情報の入手 	<ul style="list-style-type: none"> コンサル会社に相談をした(見積りや工事費積算は自身で行った) 県や他の補助金を活用した
補助金利用検討時	<ul style="list-style-type: none"> 利用補助金の選定が難しかった 申請条件が適合しなかった 運用を始めて1年未満での検討で温泉需要量、システム規模感、投資効果が不明確であった。 	
補助金申請時	<ul style="list-style-type: none"> 容易に準備できない提出書類があった 	— (特になし)
補助金採択後	<ul style="list-style-type: none"> 事業費が補助事業申請時よりも増加した 	— (特になし)

主な効果



※: CO₂排出量削減効果とエネルギーコスト削減効果は補助事業実績報告書に基づく。

今後のビジョン

- 熱エネルギーの供給量が需要量を上回っているため、有効な給湯の活用方法の開発・運用(融雪、フィンチューブと送風機による暖房)
- 県内における導入の先導的な役割として、温泉熱の自立的普及促進に向けた横展開を図る